

田村家からのご寄付に感謝申し上げます

2025年3月21日に、公益財団法人 田村科学技術振興財団（以下、田村財団）の田村友一理事長および山口 浩事務局長が杉谷キャンパス・薬物生理学研究室を訪問され、酒井、清水、藤井がお迎えしました（写真1）。

田村財団は、1984年に富山県の産業発展と福祉の増進を目的として設立されました。創設者である田村四郎氏（元富山薬窓会会長）が私財を投じて設立されたものであり、これまで長年にわたり富山大学薬学部の教育および研究推進に多大な支援をいただいています。特に「研究助成金」は、多くの研究者にとって重要な研究の基盤となっています。

2003年に四郎氏をご逝去され、その後、ご夫人の良枝氏が理事長職を引き継がれました。2006年には田村財団の全面支援により、特別講義「薬学経済」（薬学部4年次生向け）がスタートし、これまでに薬窓会の先輩方をはじめ、社会で活躍されている多くの方々をお招きしています。良枝理事長は、毎年、杉谷キャンパスでの開講式および閉講式において受講学生を励ましてくださいました。

しかし、2024年10月23日、良枝理事長が急逝されるという大変悲しい出来事がございました。亡き良枝理事長のご遺志とご子息である田村友一氏のご厚意により、100日目にあたる2025年1月31日には、薬物生理学研究室の酒井に対しご寄付をいただきました。現在、田村財団の理事長職は友一氏が引き継がれています。

当研究室では、田村四郎氏、良枝氏、友一氏の格別なるご厚意に深く感謝し、今後この感謝の気持ちを胸に、社会に還元できる質の高い研究に邁進してまいりたいと思います。なお、ご支援を受けて行う研究は、3理事長のお名前の頭文字をいただき「The Tamura SY² Research Project」（写真2）として遂行する予定です。



写真1

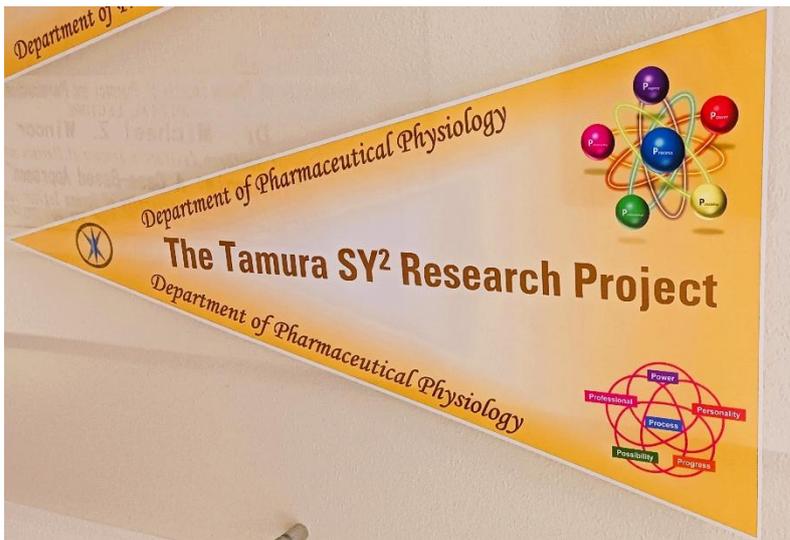


写真 2